

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標	
「一人ひとりの子どもを徹底的に大切にし、どの子どもにも居場所となる学校づくり」を目指します。	
(1) 人権教育を基盤とし、児童一人ひとりに寄り添った支援・指導をすることにより、あたたかな学級・学校風土をつくりま す。	
(2) 学びに向かう力を高め、確かな知識・技能の習得やそれを活用する思考力・判断力・表現力の育成を図ります。	
(3) 学級や学年を超えた集団の活動を充実することにより、自他を大切にし、共によりよく生きる力を育てます。	
(4) 保護者や地域との連携を図ることにより、地域や社会に関心を持ち、高田のまちを愛し、大切に作る心を育てます。	
(5) 自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、考えを表現したり合意を形成したりする力を育てます。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①全教育活動を通して行う道徳教育の要となる道徳科の授業改善に努め、道徳的判断力や心 情、実践意欲や態度を育成する。 ②人との豊かなかかわり合いを通して、自己有用感や感謝の気持ちを高め、自分も他人も大切に して、よりよく生きる子どもの姿を目指す。 ・縦割り活動を通して、実践力や主体性、思いやりの心や協力する心を育てる。 ・「運動会」やたてわり活動の取組を中心に、自主性・社会性、相互理解や連帯感を育て、もてる 力を発揮して物事にチャレンジする意欲を育てる。 ・「音楽朝会」「合唱フェスティバル」など、音楽に親しむ環境づくりに努め、自分らしさを発揮し、 最後までやりとげる力やお互いのよさを認め合う心や態度を育てる。
担当	生活指導部 道徳部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は、落ち着いた態度で学習にのぞみ、みんな仲良くしている。地域に子供会が組織されていないが、夏休みなどに実施される地域主催の行事にも、進んで参加する子が多く見られる。まじめで素直な子どもたちが多く、あいさつができる子もたくさん見られる。自分なりの目標、めあてをもち、それに向かって一生懸命取り組んでいる。しかし、その反面、自分の思いを表現する事が苦手で、人の気持ちを考えて行動することがなかなかむずかしい面も見られる。また、失敗するとあきらめてしまい、最後までやりとげられないという弱い面も見られる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- 要となる「道徳の時間」の指導の充実
- ・全学級の年間1回以上授業公開後、懇談会で話題として取り上げる。

【項目 人権教育】人権感覚・意識の育成

- 人権教育の充実
- ・人権教育に対する組織的な取組の推進・人権が尊重される授業作りのための校内研修の充実

【項目 特別支援教育】特別支援教育の充実

- ・個別の教育支援計画・個別の指導計画の充実・必要な児童に対しての教育支援計画の作成
- ・交流及び共同学習の充実・学び合いながら相互理解を深める。